

# 東宝見聞録

## 人権同和教育講演会,行われる!

2011年6月22日

講師の中尾さんと初瀬さんの話  
に熱心に聞き入る生徒達。



「僕のことを、もっとよく見てください。」

人権同和教育係 田中和彦

「僕のこと『かわいそう』と思って欲しくない。」「自分にとって言いたくないことが、本当は分かって欲しいこと。」「人と自分が違うのは当たり前で、誰もがハンディーキャップを持っている。」先日の人権同和教育講演会での中尾さんの言葉です。

ありのままの自分を受け入れ、自分と向き合っていく中尾さんの姿に、多くのことを学びました。中尾さんの前向きな姿は、さまざまな人との出会いの中で、初瀬さんをはじめ何でも言い合える、相手を認め合える『なかま』の存在があったからだと思います。もう一度「ともに学ぶ・ともに生きる。」ことについて考えてみましょう。

## 部活にズームイン!

～ 野球部編 ～

夏の甲子園県予選が間近い、野球部をとりあげます。

Q1 体力や精神力の強化、体調管理の面で、独自に採り入れているトレーニングや取り組みはありますか。

モチベーションをMAXIにするために毎日元気の良い朝礼をしています。園芸用のブロックを使ってダッシュをするブロックダッシュをしています。

Q2 一目置かれているチームメイトや名物部員は?

新チームが始まってからの不動の4番の迫くんは、ユニークなキャラクターで、練習や試合前にチームを盛り上げてくれます。将来はお笑い芸人を目指しているそうです。

Q3 試合前やピンチ、チャンスのときにするげん担ぎは?

ピンチの時こそ笑顔でいる。

Q4 部活動以外の学校生活や家での過ごし方について、チームで心がけているや決めていることはありますか?

常に学校の見本の生徒になれるよう努力しています。欠点を取ったら、課題が終わるまで練習に参加できません。クラスメイト、地域の方々、職員から応援されるようなチームになるよう心がけています。  
～竹山監督から一言～

東高校野球部には陰ながらチームを支えている一人の部員がいます。野球選手として活躍することはできませんが、いつも部員が最高の状況でプレーできるように尽力しています。今となっては、チームにとってかけがえのない存在とまでなりました。この部員をはじめ、他の部員たちも3年間でいろいろなことを学び、人間的に成長してきたと思います。今度は、今まで自分達を支えてくれた人たちに恩返しする番です。いくぞ! 全校応援!!

いよいよ夏の鹿児島県予選! いくぞ, 全校応援!!



## チョウン ソシク 좋은 소식 (よいニュース)

～鹿児島東高校は、野鳥の宝庫～ (最近よく聞く鳴き声)

周囲に緑が多い東高校では様々な野鳥の鳴き声が聞こえてきます。耳を澄ましてみて下さい! ウグイス、コジュケイ、シジュウカラ、ホトトギス、インビヨドリなどなど。なんとすばらしい環境でしょう。聞きなしいは次のようなものがありますので、紹介しておきます。花もきれいですが、鳥たちのさえずりも東にとっては宝ですね! ホトトギス…「特許許可局(トッキョキョクジウ)」, シジュウカラ…「ツツピー、ツツピー」, コジュケイ…「ちよっと来い, ちよっと来い」など

※今回は紙面の都合で当面の行事予定を掲載できませんでした。行事は、別途配付される7月行事予定表を見て確認して下さい。